

平成29年度

栃木県公立小中学校事務職員

研修会並びに総会



平成29年5月23日（火）平成29年度栃事研研修会並びに総会が栃木県教育会館大ホールにおいて開催されました。

開会式には栃木県教育委員会をはじめ、多くのご来賓の皆様に出席を賜りました。

総会では平成28年度事業報告・決算報告、会則改正案及び平成29年度事業計画・予算案についてご審議いただき、承認されました。その中で共同実施の全県実施に向けての質疑（応援のご意見）をいただいたことにより、栃事研が、リーダーの育成を目指す研修の充実をさらに図っていくことや、共同実施の全県実施への強い決意を、会員の皆様と再確認することができました。これらを踏まえ、より具体化・実践化を図るため、新たな研究主題「子どもの学びの充実を目指す学校事務」とし、活動を推進して参ります。

「これからの事務職員について語ろう」

文部科学省初等中等教育局参事官 木村直人様より「これからの事務職員について語ろう」と題し、法改正を含め、チーム学校とは何か、これからの学校に求められる事務職員像についてご講話いただきました。



「チーム学校」とは、校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子どもたちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校であり、国は、事務職員が、管理職を補佐して学校運営に関わる職として、自らの専門性を発揮することを望んでいるとお話がありました。

そのためには、学校全体を見渡し問題を発見し解決する思考力や、教育委員会、保護者・地域などと渉外・交渉・連携する力を持った事務職員が求められていること、また「共同学校事務室」が法制化され、共同実施による事務体制の一層の充実の必要性についてご説明いただきました。「事務職員が変化するためには、事務職員同士が熟議を行うことでイノベーションを起こすことができる。できない理由を考えていても、何も変わらない。できる方法を考え、一歩ずつ前に進もう。」と、エールをいただきました。

最後に「ぶっちぎり！とちぎ」と栃事研へのメッセージをいただき、終了いたしました。

